

アート & カルチャーでねりまをもっと楽しく

NERICUL

(公財) 練馬区文化振興協会情報誌 [ねりかる] vol.20

2020 Winter

3/22

ショパンの想い〜祖国への愛

3/5 武満徹の世界 音・色彩・言葉

練馬区演奏家協会コンサート

練馬区立 練馬文化センター



特集

練馬区ゆかりの演奏家たち

練馬区ゆかりの演奏家たち

練馬区には武蔵野音楽大学や日本大学芸術学部音楽学科があり、未来を担う多くの学生たちが音楽や文化について学んでいます。また区内にはかつて東京藝術大学石神井寮（現・上石神井こもれび公園）があったり、緑が多く、都心へのアクセスが良いこともあり、音大生や演奏家たちが多く暮らす街でもあります。練馬区文化振興協会では、区ゆかりのプロの演奏家たちで構成された練馬区演奏家協会の活動を支援していくための様々な取組を実施しています。



練馬区演奏家協会とは

- 音楽のあふれる街を目指して2006（平成18）年に設立
- 会員は練馬区ゆかりのプロの演奏家・音楽家
- 各種コンサートへの出演
- 演奏家同士のネットワークを構築
- 若手演奏家の育成・支援

練馬区ゆかりの演奏家たちの活動

練馬区演奏家協会コンサート

テーマに沿った本格派



練馬区演奏家協会コンサート
クララ・シューマンと仲間たち
(2019年10月19日練馬文化センター小ホール)

練馬文化センターや大泉学園ゆめりあホールを会場に、練馬区演奏家協会会員の企画によるクラシックコンサートを実施しています。今年度はショパン、ベートーヴェン、武満徹をテーマに、本格的な音楽を楽しめるプログラムとなっています。

演奏家派遣・あっせん

演奏家が出張します



福祉施設への演奏家等派遣事業

コンサート会場に行くのが難しい方々も生演奏を楽しめるよう、福祉施設等への演奏家の派遣や区立施設や区内のイベントへの演奏家のあっせんを行っています。

まちなかコンサート

ホールを飛び出して
おうちの近くで



まちなかコンサート Vol.39 in 関区民ホール (2020年7月11日関区民センター)

おうちの近くで生の音楽にふれられるよう、区内各所でコンサートを開催しています。

ワンコイン・コンサート

若手の演奏家が出演



第63回ワンコイン・コンサート
(2020年7月18日大泉学園ゆめりあホール)

0歳から楽しめる親子向けプログラムと大人も楽しめる本格的なプログラムによる、ワンコインで気軽に楽しめるコンサートを開催しています。



コンサートの様子や出演者からのメッセージを配信中！
「【いま】届けたい」一音楽家からのメッセージ
(YouTube練馬区文化振興協会公式チャンネル)

今後のコンサート



まちなかコンサート vol.43 in 北大泉

日程：2021（令和3）年2月28日（日）
会場：北大泉地区区民館
出演者：明珍宏和*（バリトン）
赤松美紀*（ピアノ）

*練馬区演奏家協会会員

今後のコンサート



第65回ワンコイン・コンサート

日程：2021（令和3）年1月16日（土）
会場：大泉学園ゆめりあホール
出演者：福原圭織*（ピアノ）、鈴木もな（フルート）
岡田真弥（ソプラノ）

武満徹の世界 音・色彩・言葉

インタビュー：久保法之（カウンターテナー）

——武満徹とフランス近代音楽の関係について、どう考えていますか。

武満徹はフランス近代音楽に影響を受けた作曲家で、フランスでも名前が知られています。武満徹が受けた影響は何かと考えると、“音がまるで色として見える（ような感覚に陥る）”という点かなと思います。“感じる”、“見える”というような、感覚的な部分に訴えるものに感銘を受けたのではないのでしょうか。そうした“感覚的な”要素こそ、フランス音楽の醍醐味なので。それからフランス音楽は、作品と演者に距離があって、喜怒哀楽の感情を客観的に表現するという特徴があると思います。感情的になっていることの表現方法が違う、という印象ですね。

——今回のプログラムの中でお勧めの曲は何ですか。

「雨の樹 素描Ⅱ—オリヴィエ・メシアンの追憶に—」です。大好きです。「ここは何調」と言えない瞬間が沢山あるんですが、すごく耳に心地いいなと思うんです。やはりそれは、音から受け取るものが映像としてイメージしやすいからなのかなと思っていて、そこはフランス近代の音楽にもとても似ている点だと感じています。

——（クラシック音楽を）演奏する上で意識していることはありますか。

演奏することは、“伝統芸術”だと感じています。“解釈”はもちろん色々あっていいと思うんですが、演奏者側の“欲”という形で表に出てくると、その作品が別物になってしまう。色や個性は演奏者が変われば勝手に出てくるものだと思っていて、伝統のものを表現し続ける立場を忘れないようにしたいと思っています。僕はバロック音楽を演奏しますが、楽譜に答えが書いてあることが多いんです。楽器の性質上という観点だったり、言葉のアクセントや、言葉そのものが持つ力が生きるようにはじめから音はめられていたり。それを忠実に演奏するだけで魅力的なものになると僕は信じています。自分の“こうしたいから”ではなくて、こうなっている“理由”を考えられる演奏者でありたいと思っています。

ショパンの想い～祖国への愛

インタビュー：中井恒仁&武田美和子（ピアノデュオ）

——ショパンについてどんな印象をお持ちですか。

中井 「ピアノの詩人」と言われるようなデリケートな面が表に出やすいですが、実際にはポーランドという国を背負い、当時の不安定な情勢の中、音楽でポーランドのアイデンティティというものを強く発信しようとした「騎士の魂」のようなものを僕は感じます。

——ショパンの曲を弾くときに意識することはありますか。

武田 透明度を高く、ということでしょうか。和音の重ね方、どういう響きのバランスにするか、高音の輝きや低音の並びをどうするのか、音色の選択をすごく丁寧に意識しています。英雄っぽい曲や華々しい曲でも、エレガントさは失わず、心の動きを求めたい。

——ソロとデュオ、それぞれ演奏する上で心掛けていることはありますか。

中井 昔は自分の中ではソロとデュオは違うものでした。デュオは合わせものという感覚、意識が強くありました。今は合わせながら、一体感を持って弾けるようになったので、ソロもデュオも同じような感覚になっています。

武田 二人で一つの音楽をつくる集中の仕方と一人でつくっているときの差はありますが、二人でつくるときは、芸術的な要素を二人でよりいろんなところに向けやすいし、それらを突き詰めていった上での芸術性というものをいつも目指しています。

——生の演奏についてどう考えていますか。

中井 音楽には、人の心を勇気づけたり、癒したりするだけの力があります。人が人らしく生きるためには必要なものであると強く感じています。音楽の魅力というものをより強く伝えたいと思うようになりました。

武田 同じ空間を共有することで、空気の波動やコミュニケーションが生まれます。お互いがそういう空気の中で過ごすことは、画面の中とは絶対に違います。私たちもお客様の様子を感じながら弾けることが幸せだし、私たちの想いとともに音楽を聴いている幸せも感じてもらえれば、お互いに通じ合えるのではないかと思います。



練馬区演奏家協会コンサート

武満徹の世界 音・色彩・言葉

日時：2021（令和3）年3月5日（金）19:00開演

会場：大泉学園ゆめりあホール

出演者：久保法之*（カウンターテナー）

浅井文（ピアノ）、巖崎文彦（ギター）

曲目：武満徹／雨の樹 素描Ⅱ—オリヴィエ・メシアン
の追憶に—、アーレン（武満徹編曲）／「ギターのた
めの12の歌」より オーバー・ザ・レインボー、ドビュッ
シー／「艶なる宴 第2集」より 感傷的な対話 ほか



練馬区演奏家協会コンサート

ショパンの想い～祖国への愛

(6月20日延期公演)

日時：2021（令和3）年3月22日（月）18:30開演

会場：練馬文化センター小ホール

出演者：中井恒仁* & 武田美和子*（ピアノデュオ）

曲目：ショパン／ノクターン嬰ハ短調（遺作）、
練習曲「別れの曲」「革命」、バラード第1番、
変奏曲（連弾）、リスト／ラ・カンパネラ、三善
晃／唱歌の四季より「夕焼け小焼け」ほか

1月	1月8日(金) 19:00～21:00 練馬文化センター大ホール 辻井伸行ピアノ・リサイタル オール・ショパン [6/2延期公演]	完売御礼
	1月12日(火) 19:00～21:00 練馬文化センター大ホール 横山幸雄プロデュース ピアノ貴公子たちのショパン [6/27延期公演]	全席指定 S席5,800円 A席4,800円
	1月16日(土) ①13:30～14:10 ②16:00～17:00 大泉学園ゆめりあホール 第65回ワンコイン・コンサート ①0歳からの小さな演奏会～ピアノ&フルート&うた ②新春の饗宴～気軽にクラシック	全席指定 500円 ①は2歳以下、ひざ上無料。 席が必要な場合は有料。 ②未就学児入場不可。
	1月17日(日) 14:00～15:30 大泉学園ゆめりあホール 第16回ゆめりあ若手寄席～大泉新春落語会2021～	全席指定 1,500円
2月	2月11日(木・祝) 15:00～17:15 練馬文化センター小ホール ねりぶんJAZZ ルイ・アームストロング没後50年記念 サッチモとデクシーランドジャズの楽しい世界	全席指定 3,000円
	2月26日(金) 19:00～21:00 練馬文化センター大ホール フレッシュ名曲コンサート 新日本フィル「イタリアオペラの世界」	全席指定 S席3,800円 A席3,000円
3月	3月5日(金) 19:00～20:30 大泉学園ゆめりあホール 練馬区演奏家協会コンサート 武満徹の世界 音・色彩・言葉	全席指定 1000円
	3月22日(月) 18:30～20:00 練馬文化センター小ホール 練馬区演奏家協会コンサート ショパンの想い～祖国への愛 [6/20延期公演]	チケット販売については ホームページをご確認ください。
	3月27日(土) 17:30～ 練馬文化センター大ホール デーモン閣下の邦楽維新 Collaboration 官能のフラメンコ2 一谷崎潤一郎を詠み謳うー	全席指定 S席6,800円 A席5,500円
	[vol.7] 1月13日(水) [vol.8] 2月12日(金) [vol.9] 3月12日(金) 15:00～15:30 練馬文化センター小ホール ねりぶんアフタヌーン・ミニコンサート	無料 ※要事前申込・抽選 問合せ：03-3993-3311

その他会場

1月	1月23日(土) 13:30～14:15 光が丘区民ホール(光が丘2-9-6光が丘区民センター3階) まちなかコンサートvol.42 in 光が丘	申込受付終了
2月	2月28日(日) 11:00～11:45 北大泉地区区民館(大泉町2-41-26) まちなかコンサートvol.43 in 北大泉	無料 ※要事前申込・抽選 問合せ：03-3993-3311
2月20日(土) 大泉学園地区区民館 24日(水) 関町北地区区民館 3月17日(水) 高松地区区民館 19日(金) 旭町北地区区民館 11:00～11:40 親子で楽しむミュージックキャラバン		無料 ※要事前申込・抽選 問合せ：03-3993-3311

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公演が中止または延期となる場合がございます。
各公演の最新情報、ご来館にあたっての注意事項等につきましては、施設のホームページをご確認ください。掲載情報は、2020(令和2)年12月11日現在のものとなります。

チケット
購入方法

【電話】03-3948-9000

10:00～17:00 / 練馬文化センター予約電話
※チケットは、窓口や郵便振替でお引換えができます。

【窓口】 ●練馬文化センター1階チケットカウンター
●大泉学園ゆめりあホール5階事務室受付
10:00～20:00 / ※予約受付開始日の翌日10:00から、
窓口で購入およびお引換えができます。

【インターネット】 <https://www.neribun.or.jp>

事前に利用登録が必要です。(無料)

①協会ホームページの「インターネットチケット販売」ボタンをクリック。
②「利用登録」から必要事項を入力してください。

●予約方法 登録したメールアドレス、パスワードで
「ログイン」するとチケット予約が行えます。
※チケットは、セブン-イレブンや郵送などで受取れます。



特に記載のない公演については、未就学児入場不可。車いす席、難聴者イヤホンをご希望の方は、予約電話までお申込ください。

練馬区立美術館開館35周年記念展

35年の35点 コレクションで振り返る練馬区立美術館

12月12日(土)～2021(令和3)年2月14日(日)



木村荘八《静物》1919年 油彩・キャンバス



田崎廣助《武蔵野の早春》1940年 油彩・キャンバス

1年毎に一つの展覧会出品作を取り上げ、35年間の練馬区立美術館の歴史を振り返ります。1985年の「田崎廣助展」から1993年の「木村荘八展」、2007年「讚美小舎 上田コレクション」、2015年の「小林清親展」など、作品とともに当時のチラシやポスターも展示します。

ココがおすすめ!

練馬区立美術館の歴史年表をたどるような展示空間となります。

時間 10:00～18:00

休館日 月曜日 ※ただし、1月11日(月・祝)は開館、
年未年始12月29日(火)～1月3日(日)、1月12日(火)は休館。

観覧料 無料 会場は2階展示室のみ

電線絵画展 —小林清親から山口晃まで—

2月28日(日)～4月18日(日)

街に縦横無尽に走る電線は美的景観を損ねるものと忌み嫌われ、電柱が地中化されスッキリと見通しの良い、青空が広がる整然とした街並みに誰しもが憧れを抱くことは否めないでしょう。しかし、そうした雑然感は飾らないそのままの風景であり、ノスタルジーと共に刻み込まれている都市景観なのです。

この展覧会は明治初期から現代に至るまでの電線、電柱が果たした役割と各時代ごとに絵画化された意図を検証し、東京の姿を電線で読み解いていこうとするものです。油彩画、日本画、版画、立体作品等、約130点で、近代都市を新たな視点で見つめなおします。

時間 10:00～18:00

休館日 月曜日

観覧料 一般1,000円、高校・大学生および65～74歳800円、
中学生以下および75歳以上無料、その他各種割引あり
(一般以外の方は年齢等の確認できるものをお持ちください)

出品協力/東京国立近代美術館



山口晃《演説電柱》平成24年(2012) ペン、水彩、紙 個人蔵
©YAMAGUCHI Akira, Courtesy of Mizuma Art Gallery

ココがおすすめ!

日本最古の
電線絵画!

ペリーがもたらした電信機の実験が横浜で行われました。嘉永7年(1854)に描かれた日本初の電信柱、電線の絵をご覧ください。



小林清親《從箱根山中富嶽眺望》明治13年(1880) 大判錦絵 千葉市美術館蔵



佐伯祐三《下落合風景》大正15年(1926)頃
油彩、キャンバス 東京国立近代美術館寄託

展覧会および関連イベントの最新情報、ご来館にあたっての注意事項等につきましては、施設のホームページをご確認ください。掲載情報は、2020(令和2)年12月11日現在のものとなります。

特別展「昭和のこどもたち」

11月28日(土)～2021(令和3)年1月16日(土)

なつかしの昭和30年代をテーマに全国を巡回し、好評を博している人形作家・石井美千子氏(昭和28年～)の作品展です。

時 間 9:00～18:00

休館日 月曜日

※ただし、1月11日(月・祝)は開館、
年末年始12月29日(火)～1月3日(日)、1月12日(火)は休館。

観覧料 一般300円、高校・大学生200円、65～74歳150円、
中学生以下および75歳以上無料、その他各種割引あり
(一般以外の方は年齢等の確認できるものをお持ちください)

ココがおすすめ!

人形たちと情景のなかに、なつかしい
「あの日」がうかびます。



けんが



ビー玉

特別展「こわい?こわくない? わにわにの絵本展

—石神井公園生まれのワニのおはなし—

1月23日(土)～3月21日(日)

ぎろりとした目、きばののぞく大きな口…。一見するとこわそうな「わにわに」ですが、お風呂に入って「うりうり うり うり」と歌ったり、お料理をして「がふつ がふつ がふつ」とごちそうを食べたり、「ずりずり づづづ」とおでかけしたり、その生活はなんだか楽しそう。そんな「わにわに」のおはなしは、実は石神井公園から生まれました。1993年、石神井公園でワニを見たという目撃情報が複数寄せられ、ワニの捕獲対策の様子が全国的に報じられた、通称“ワニ騒動”。本展ではその“ワニ騒動”から、「わにわに」のおはなしが誕生するまでのエピソードをはじめ、小風さちさんによるおはなしや、山口マオさんによる木版画の原画をご紹介します、「わにわに」の絵本の世界へとといざないます。

ココがおすすめ!

心地よいリズムの
文と、鮮やかな木
版画の絵をお楽し
みください。

時 間 9:00～18:00

休館日 月曜日

観覧料 一般300円、
高校・大学生200円、
65～74歳150円、
中学生以下および
75歳以上無料、
その他各種割引あり
(一般以外の方は年齢等の確認
できるものをお持ちください)

協 力 福音館書店



『わにわにのおふろ』(福音館書店2004年)より

わにわには
うたも うたいます。
うりうり
うりうり
うり
うり
オーイェー



『わにわにのごちそう』(福音館書店2007年)表紙

常設展示 観覧料:無料

ふ=ふれあい(交流)、る=ルーツを知り、さ=さわることができて(体験型展示)、
と=とりかえられる(定期的に更新)をコンセプトに、練馬区の歴史、民俗、伝統文化、
アニメーションに関する展示を行っています。

石神井公園ふるさと文化館 分室

常設展示 観覧料:無料

作家・檀一雄の書齋再現をはじめ、練馬区ゆかりの文化人42人の紹介等や区ゆかりの時代小説家・
五味康祐の貴重なオーディオ装置等を展示しています。

展覧会および関連イベントの最新情報、ご来館にあたっての注意事項等につきましては、施設のホームページをご確認ください。掲載情報は、2020(令和2)年12月11日現在のものとなります。

イベントレポート EVENT REPORT

練馬区文化振興協会では、観る・聴く・学ぶ・参加するなど、様々なイベントを開催しています。その魅力をレポートします。

いろんな絵本が待ってるよ！ 読み聞かせて楽しむ午後の親子タイム

すっかり黄葉色になったイチョウの葉が秋晴れの空に舞う、気持ちのいい午後。石神井松の風文化公園内にある管理棟の多目的室では、何冊もの絵本や紙芝居が並べられ、子どもたちが来るのを今か今かと待っています…。

これからこの部屋で始まるのは、石神井公園ふるさと文化館分室がオープンした時から続いてきたイベント「絵本とあそぶ会」です。読み聞かせをしたり、手遊びをしたり、子どもたちにいろいろな作品と触れ合ってもらおうと年に3回開催されてきました。分室オープン当時から、練馬区ゆかりの文化人を紹介する事業のひとつとして、近隣の図書館との連携をめざしてきた結果、2014年10月に催された区ゆかりの絵本作家たちの作品を集めた展覧会「絵本の森へようこそ」より、南田中図書館のスタッフと共同したイベントを始めることができ、毎年途切れることなく続いてきました。

「絵本とあそぶ会」では毎回テーマを決めて絵本を選び、分室で展覧会が行われていればそれにちなんだ作品などが選ばれます。今回のテーマは、翌日の“勤労感謝の日”にちなんで「お仕事」に。さて、どんなお話がそろったのでしょうか……？



今回は「お仕事」に関連した絵本がずらり、いつもより大きな絵本もあります。(左) 会場が和室だった頃は、スライド紙芝居が大人気でした。(右)

開始時間が近づくと、続々と親子連れがやってきました。やはり感染症対策で、受付時の検温・消毒やマスクの着用は欠かせません。今年2月の開催までは管理棟内にある和室で行われていた会も、密を避けるためにより広い多目的室へと変更されました。これで子どもたちの席も広々と確保できます。

この日のために用意された絵本は全部で5冊、紙芝居が2組、そしてパネルシアターです。

さあよいよ読み聞かせが始まり、みんなの前に開かれた絵本は…なんと通常の絵本の何倍もあるジャンボサイズ!会場

絵本とあそぶ会

《石神井公園ふるさと文化館(会場:石神井松の風文化公園管理棟)》

2020(令和2)年11月22日(日)



フルートを演奏する真似をしながら、みんなで大合奏のパネルシアター。

大型絵本だから遠くからでもはっきり楽しめます。(左) おはなしは少し離れたところからマイクを使って読みました、これも感染症対策の一環です。(右)

が広くなった分、離れた場所からもよく絵が見えるようにと、読み聞かせ専用の大型絵本が用いられました。紙芝居も負けじと特大サイズで、子どもたちの視線を集めます。

パン屋さん、コックさん、お医者さんなどみんながよく知っている職業から、王様やウルトラマン(!)まで色々なお仕事次から次に登場し、子どもたちも興味津々です。最後は一番人気だったパネルシアター。童謡「やまのおんがくか」に合わせて楽器を弾く真似をします。音楽家になりきって「楽しかった!」と満足顔で会もお開きです。

公園の散歩がてら立ち寄った親子、本が大好きなので遊びに来た男の子、途中参加・退室もOKなので小さいお子さん連れも多く、誰でも気兼ねなく楽しめるイベントでした。

次回の開催は2021年2月7日(日)の予定で、1月23日(土)から石神井公園ふるさと文化館で開催される特別展「こわい?こわくない?わにわにの絵本展—石神井公園生まれのワニのおはなし—」(左ページ参照)に合わせて、「わにわに」のシリーズをメインに絵本を選ぶ予定だそうです。

「絵本の展覧会だとどうしても原画がメインになってしまい、お話に光を当てられることが少なかった。それがいつももどかかったので、『わにわに』の展覧会ではお話にも注目してもらえる工夫をしています」と、学芸員の川崎さん。「『絵本とあそぶ会』では目だけではなく耳からもお話の楽しさを体験できるので、たくさんのお子さんに来てもらいたいです。これからもあそぶ会は続けていきますので、ぜひいらしてください!」



☎ 03-5372-2572

[住所] 練馬区石神井台1-33-44
石神井松の風文化公園管理棟内
(西武池袋線「石神井公園」駅下車徒歩15分)

[FAX] 050-3352-2983

[開室時間] 9:00~18:00

[休館日] 月曜(祝休日の場合は翌平日)、年末年始、臨時休室日
観覧無料



☎ 03-3993-3311

[住所] 練馬区練馬1-17-37
(西武池袋線・西武有楽町線・
都営大江戸線「練馬」駅下車
徒歩1分)

[FAX] 03-3991-9666

[休館日] 年末年始
(保守点検日は、一部施設のご利用ができません)



☎ 03-5947-2351

[住所] 練馬区東大泉1-29-1
(西武池袋線「大泉学園」駅
下車徒歩1分)

[FAX] 03-5905-2021

[休館日] 年末年始
(保守点検日は、一部施設の
ご利用ができません)



☎ 03-3996-4060

[住所] 練馬区石神井町5-12-16
(西武池袋線「石神井公園」駅下車徒歩15分)

[FAX] 03-3996-4061

[開館時間] 9:00~18:00 (会議室の利用は21:30まで)

[休館日] 月曜(祝休日の場合は翌平日)、
年末年始、臨時休館日

[料金] 常設展示は観覧無料(特別展は有料)



☎ 03-3577-1821

[住所] 練馬区貫井1-36-16
(西武池袋線「中村橋」駅
下車徒歩3分)

[開館時間] 10:00~18:00
(入館は17:30まで)

[休館日] 月曜(祝休日の場合は翌平日)、
年末年始、展示替えなど
による準備期間中

[料金] 展覧会により異なる



ご来館予定のみなさまへ

新型コロナウイルス感染拡大防止の
対策にご協力をお願いします。



マスク



手洗い



咳エチケット



十分な間隔



体調不良



入場制限

- ・マスクをご着用ください。
- ・咳エチケット、手洗いなどにご協力ください。
- ・館内では、隣の方と十分に距離を保ってください。
- ・体調に不安のある方は、来館をご遠慮ください。
- ・入場制限等を実施する場合がございます。

公益財団法人 練馬区文化振興協会 友の会 会員募集中!

年会費:2,500円(税込)
会員期間:入会月から1年間

公益財団法人練馬区文化振興協会が管理運営している施設の公演や展覧会などがお得に楽しめます!

特典
いっぱい!

1 情報誌を毎月郵送

2 チケット10%オフ

・練馬文化センター
・大泉学園ゆめりあホール

3 チケット優先予約

・練馬文化センター

4 展覧会にご招待

・石神井公園ふるさと文化館
・練馬区立美術館

5 会員限定イベント

・石神井公園ふるさと文化館
・練馬区立美術館

*各特典には条件があります。

入会申込

窓口

郵便振込

インターネット

いずれのお手続きでも料金は2,500円です。

*郵便振込の場合、別途振込手数料がかかります。

*各特典や入会方法など、詳しくは
<https://www.neribun.or.jp/> をご覧ください。

